

令和 8 年（2026 年）6 月 24 日

生徒の皆さんへ

北海道札幌厚別高等学校長 三井 智和

開校記念日に当たり

令和 8 年（2026 年）6 月 25 日は、本校の 44 回目の開校記念日です。

「厚別」には信濃という地名があり、信濃神社が鎮守の社となっているように、明治 16 年（1883 年）に長野県（旧信濃国）の人々が入植し、過酷な自然条件を克服して、北海道開拓の先駆的役割を果たした地です。厚別地区には小学校、中学校に「信濃」の名が残されており、その開拓者魂とともに、入植者たちの故郷長野県と同様に教育への情熱を今に伝えています。

本校は、昭和 58 年（1983 年）、教育に対する関心の高まり、高等学校への進学希望者の増加などの状況を受け、厚別地区の方々の高等学校教育への熱い期待と開設に向けたご努力により、地域別配置適正化事業による同年開校予定 14 校の 1 校として、全日制課程普通科 1 学年 10 学級（定員 450 名）で開校しました。昭和 57 年（1982 年）6 月 25 日、開校に向け第 1 期工事の最初の杭打ちが開始されたこの日を開校記念日と決めました。

平成 25 年（2013 年）、それまでの普通科から道内唯一の芸術系列を有する総合学科としての新たな歴史を刻み始めました。

総合学科への転換に当たり、開校当初から全道で唯一の芸術類型を備え、特色のある教育を展開していた実績をさらに発展させるために、音楽、美術の系列にそれぞれ 4 つの小系列（音楽ではピアノ、弦楽器、管楽器、声楽、美術では絵画、彫刻、クラフトデザイン、情報メディアデザイン）を設け、外部講師を活用した専門教育を実施するとともに、多様な進路希望や興味、関心に対応できる学校設定科目を多数開講し、確かな学力を身につけ、自己の得意分野を伸張できる人材の育成に力を入れてきました。そうした期待に応えるように生徒はよく学び、本校の掲げるスクール・ミッションの一つ「自ら考え主体的に行動する力と自己実現に必要な学力等を身に付け、幅広い分野において持続可能な社会の創り手となる」を体現し、道内のみならず国内で活躍する卒業生は 14,000 余名を数えます。開校当時から脈々と引き継がれている本校教育に対する地域からの期待と信頼に応えられる学校づくりを目指したいと考えています。

皆さんの学舎は、これまでのさまざまな歴史の積み重ねの上に存在しています。これまで諸先輩が担ってきた「高き理想を掲げつつ 自ら励む人たらん」の精神を受け継ぎ、厚高生としての自覚を新たにして、さらなる飛躍ができる一步を踏み出す日としてほしいと思います。先輩方が築き上げた伝統を踏まえ、新たな札幌厚別高校の歴史を作るのは皆さん一人ひとりです。



昭和 58 年 4 月 9 日 開校式・第 1 回入学式



昭和 58 年 5 月 23 日 第 2 期工事着工